

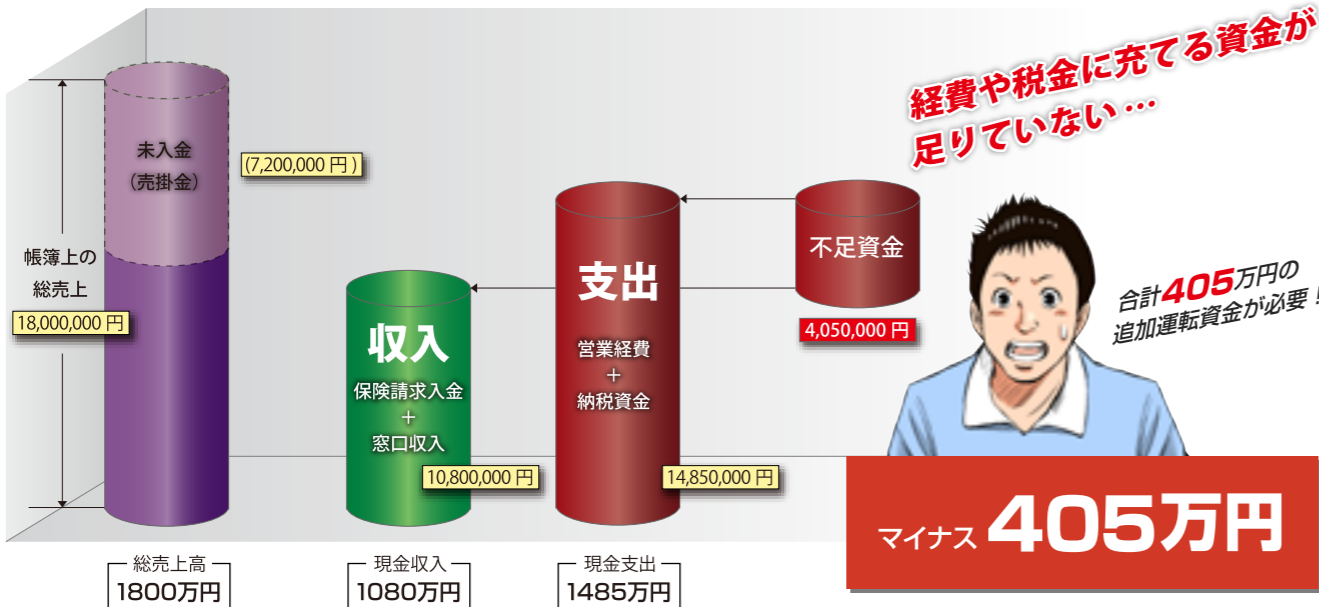
同じ売上でもこんなに違う！

帳簿上の売上1800万円の場合のシミュレーション

【内訳】 保険請求分120万円 窓口収入30万円 × 12か月
 諸経費合計：1,350万円（営業利益率：25%として試算）
 営業利益：450万円（= 1,800 - 1,350）
 法人税額：135万円（営業利益450万円 × 30%）

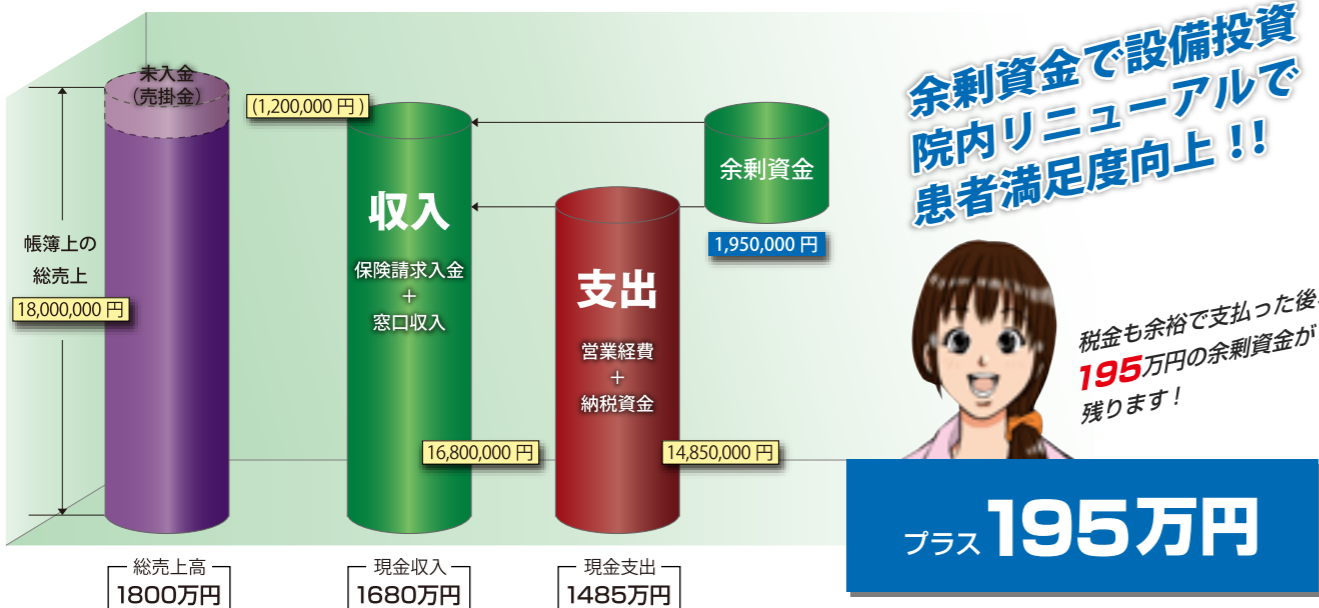
※計算例はあくまで概算の例です。

■ 一般的な請求団体をご利用の場合



人件費や家賃などの諸経費で、年間1,350万円必要なのに対し、売上現金として手にするのは1,080万円。不足差額の270万円は運転資金として準備が必要です。さらに、法人税135万円を支払はなければなりませんので、合計405万円が運転資金&納税資金として別途必要です。

■ スーパーエクスプレスをご利用の場合



人件費や家賃などの諸経費は、上のケースと同じ年間1,350万円。一方で、売上現金で手にできる金額は1,680万円。営業経費を差し引いても330万円の現金が残ります。ここから法人税135万円を支払っても195万円手元に余剰資金が残ることになります。

資金繰りが良くなったら、あなたは何に使いますか？

■ 通常支払いの団体から、メディックス・スーパーエクスプレス「一時立替え払い」に変更すると…

(6か月後入金団体の団体から5月にメディックス・スーパーエクスプレスに変更した場合のキャッシュフローの例)

請求団体	請求月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
窓口収入		30万円	30万円	30万円	30万円	30万円	30万円	30万円	30万円	30万円	30万円	30万円	30万円
現在ご利用中の団体様	請求額	120万円	120万円	120万円	120万円								
	入金額(請求月分)	120万円(7月請求分)	120万円(8月請求分)	120万円(9月請求分)	120万円(10月請求分)	120万円(11月請求分)	120万円(12月請求分)	120万円(1月請求分)	120万円(2月請求分)	120万円(3月請求分)	120万円(4月請求分)		
Medix Super Express スーパーエクスプレス	請求額					120万円	120万円	120万円	120万円	120万円	120万円	120万円	120万円
	入金額(請求月分)					120万円(5月請求分)	120万円(6月請求分)	120万円(7月請求分)	120万円(8月請求分)	120万円(9月請求分)	120万円(10月請求分)	120万円(11月請求分)	120万円(12月請求分)
現金入金合計		150万円	150万円	150万円	150万円	270万円	270万円	270万円	270万円	270万円	270万円	150万円	150万円

表1：毎月保険請求120万円 窓口収入30万円の場合の入金サイクル

スーパーエクスプレス導入月から数か月間はダブル入金となります！

請求代行のプランをメディックス・スーパーエクスプレスに変更すると、変更した月から数か月間は、これまで利用していた請求団体からの入金と、メディックスからの当月の入金分とで**ダブルの入金**となります。

このダブル入金で入ってきたお金で、なかなか出来なかったリニューアルを実施して顧客満足度を向上させ、再来院数や新患者を劇的に改善されている治療院さまがたくさんいらっしゃいます。その他にも様々な活用方法があります。



導入効果



大幅改善

- 治療院の改装
- デイケア用送迎車を購入
- 自費メニュー機器の購入
- 分院展開の自己資金に充てる
- リース残債支払い

株式会社 メディックス お客様相談窓口専用
お気軽に問合せください。詳しい資料をお届けいたします。

0120-654-678
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。